



平成 31 年 4 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社パスコ  
 代表者名 代表取締役社長 島村 秀樹  
 (コード：9232 東証第 1 部)  
 問合せ先 取締役 財務担当 日根 清  
 (TEL. 03-5722-7600)  
 親 会 社 セコム株式会社 (コード：9735)

**通期連結業績予想の修正、通期個別業績予想および特別損失の計上  
 並びに配当予想の修正（無配）に関するお知らせ**

平成31年2月7日に公表いたしました平成31年3月期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

併せて、通期個別業績の予想値については開示しておりませんでした。今般、前期実績値との対比においてその差異が適時開示の基準に達する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成31年4月19日開催の取締役会において、平成31年3月31日を基準日とする配当予想につきまして、下記のとおり修正することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 平成 31 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 31 年 2 月 7 日発表)	百万円 50,000	百万円 1,600	百万円 1,300	百万円 800	円 銭 55.45
今回修正予想 (B)	51,900	2,600	2,700	1,300	90.13
増 減 額 (B-A)	1,900	1,000	1,400	500	
増 減 率 (%)	3.8	62.5	107.7	62.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期)	51,067	2,050	1,890	1,000	69.37

(注) 平成 30 年 10 月 1 日付で、普通株式 5 株につき 1 株の割合をもって株式併合を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結業績予想の修正理由

売上高は、固定資産税評価業務、上下水道台帳・林地台帳整備業務および防災・減災関連業務等の受注が好調であったこと等により、前回予想と比較して 19 億円の増収見込みとなり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、売上増のほか、国内公共部門の生産業務効率化に伴う採算性の改善等により前回予想を上回る見通しです。

## 2. 通期個別業績予想について

### (1) 平成31年3月期通期個別業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	42,540	1,502	545	24	1.70
当期予想 (B)	44,000	2,200	2,400	1,000	69.23
増減額 (B-A)	1,459	697	1,854	975	
増減率 (%)	3.4	46.4	339.8	—	

(注) 平成30年10月1日付で、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を行っております。

前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

### (2) 前事業年度実績と差異が生じた理由

当期は、固定資産税評価業務、上下水道台帳・林地台帳整備業務および防災・減災関連業務等の受注が好調であったこと等により、売上高は、前期実績と比較して14億円、営業利益は、前期実績を約7億円上回る見通しです。

経常利益は、前期に海外子会社の業績が悪化したことから営業外費用に關係会社の貸付金その他債権に対する貸倒引当金繰入額を10億円計上したこともあり、前期実績を18億円以上上回る見通しです。

当期純利益は、特別損失に衛星事業における衛星受信関連設備等の減損損失を4億円、關係会社支援損5億円の計上を見込んでおりますが、前期実績を9億円上回る見通しです。

## 3. 特別損失の計上について

平成31年3月期個別決算におきまして、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

### (1) 關係会社支援損（個別）

欧州の子会社 Aerodata International Surveys BVBA の整理をしていく過程で発生した金融支援等5億円を、特別損失として計上する見込みであります。

なお、關係会社に対する支援損は、個別財務諸表のみで計上されるものであり、連結決算では消去されるため、連結損益への影響はありません。

### (2) 固定資産の減損損失（個別、連結）

衛星事業における衛星受信関連設備等について、収益性の低下により資産の回収可能額が帳簿価額を下回るため、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として4億円特別損失に計上する見込みであります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

#### 4. 配当予想の修正について

##### 配当予想修正の理由

当社は、業績、経営環境および将来の事業展開を勘案し、企業体質の充実に努めながら、株主の皆様  
に適正な利益還元を行うことを利益配分政策の最重点方針としています。

しかしながら、現在当社は、中期経営計画に掲げる「持続的な企業成長に向けた利益体質への変革」  
への過程にあると認識しており、当事業年度におきましては、配当のベースとなる単体の財務状況等を  
慎重に検討した結果、誠に遺憾ながら配当を見送る予定といたしました。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりま  
すので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

##### 修正の内容

これまで「未定」としていた期末配当を「無配」に修正いたします。

	年間配当金（円 銭）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成31年2月7日公表)		未定	未定
今回修正予想		0.00	0.00
当期実績	—		
前期実績 (平成30年3月期)	—	0.00	0.00

以上